学校再編だより

富浦小学校

－第３号－

－保護者と地域の協働による検討会議－

令和８年９月発行

旭市教育委員会教育総務課　学校再編室

富浦小学校の再編にかかる
第３回学校再編地域検討会議を開催しました

９月４日（金）午後６時３０分から旭市役所市民ホールにおいて、富浦小学校 学校再編地域検討会議を開催しました。

今回の会議では「統合校の整備イメージ」について事務局から説明し、その後意見交換を行いました。２校を統合することは全員賛成、統合校の位置は意見が分かれる結果となりました。

【委員の主な意見】

○一中の統合は現実的ではないので矢指小に賛成。ただし、各家庭がどの学校に行くか選択できるようにするべきだと思う。	○人数が少なくても地元の学校に行かせたいので矢指小に賛成。学校生活がどれだけ充実するかが重要だと思う。
○本当は一中が良いが、中学の再編をまずやらなくてはいけないので、矢指小に賛成するしかない。	○統合しても人数的に今の富浦小と変わらないので寂しい思いはあるが、一中よりは矢指小のほうが現実的。
○一中にする場合は10年掛かるという時点で矢指小にせざるを得ない。学区外申請を寛容にしすぎると中央小に流れてしまうので考える必要がある。	○スピード感でいったら矢指小だが、本音では一中が良い。どちらになっても決まったほうに通わせるとは思う。
○一中に賛成。矢指小で統合しても近いうちにまた統合になる気がする。	○矢指小で統合しても、子供たちが減ったらまた統合になってお金を使うことになるので、一中のほうが良い。
○仁玉からは一中のほうが近いので一中一択。	○今の統合時期の差よりも、建てた後のほうが長いので、将来的に考えると一中のほうが良い。
○矢指小になっても改修するとのことなので、矢指小でいいと思う。	○学校にいる限りは絶対安心という面で考えると一中のほうが良いが、中学校の再編が難しいという話も聞いている。
○子供たちの教育活動を豊かにするのが早めのほうがいいと思う。	○これから10年間統合待ちで、人数の少ないクラスで教育活動する状態を長引かせるべきではないので、矢指小に賛成。
○矢指小にすると、ほかの学校のほうが近い子が出てくる。一中にすれば学区から抜ける子が少なくなるし、中央小からの流入も考えられる。	

第４回会議開催予定　日時：令和８年１０月５日（月）　午後６時３０分から

場所：旭市役所1階市民ホール

※この会議は傍聴することができますが、会場内のスペースの関係により定員を10名とします。あらかじめご了承ください。

矢指小学校の整備例



【想定改修費】
- 校舎　　７億円
- 体育館　1.5億円
- 外構等　1.5億円

合計　10億円

第一中学校の整備例



【想定改修費】
- 校舎　　10億円
- 体育館　１億円
- 外構等　４億円

合計　15億円

※整備例はいずれも現時点で考えうる一つの例となります

学校再編ホームページ　学校再編基本方針の説明動画　旭地域南小学校の説明動画　地域検討会議

【お問い合わせ先】　旭市教育委員会教育総務課学校再編室
TEL：0479-85-8614　FAX：0479-62-5855
Email：kyo-saihen@city.asahi.lg.jp